

2-2 私情協ネットワークの整備

私情協の情報ネットワーク及びWebサイトの機能を充実し、加盟大学への情報提供、加盟大学間による情報交流を拡大・促進するため、ネットワーク組織管理センター（センター長：北川 一、豊田工業大学教授）を継続して設置し、協議は運営委員会にて対応した。本年度は、以下の事業を実施した。

(1) Webページコンテンツ作成ツールの研究

学系別情報教育研究委員会などによる教材・資料の作成、アンケートの実施と集計結果の公開等の活動を促進するため、私情協のサーバにWebページコンテンツ作成のためのツールを構築することにした。ツールの機能は、アンケートの作成・集計機能、リンク集の作成・管理機能、Web教材作成機能とし、各機能の概要を以下のように整理し、賛助会員を交えて技術的な可能性を検討した。

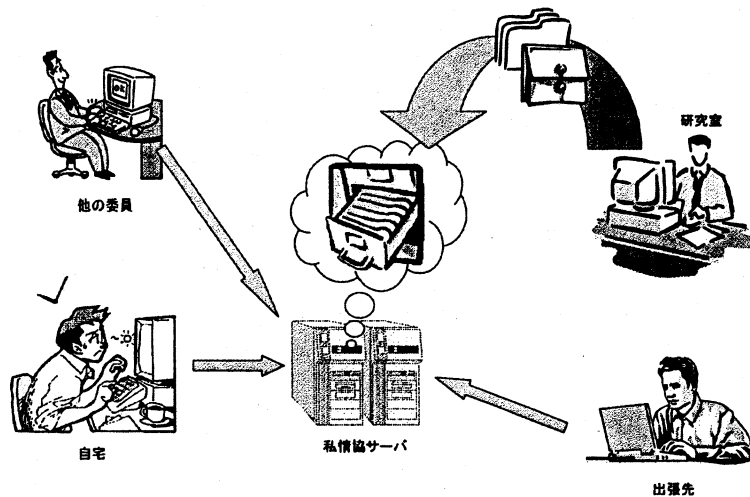
『機能の概要』

1. 平易な操作でコンテンツを作成できる
 - (1) 各委員会に共通する必要機能を想定し、あらかじめ定形の作業ページ（テンプレート）を準備する。
 - (2) テンプレートは直感的に操作方法・作業手順を理解できることを重視し、必要な最低限度の機能で構成する。当面、委員会でアンケートを実施する際のアンケート画面を作成する機能、教材・素材のリンク集を作成・管理する機能、私情協のWebサイトにモデル教材等を作成する機能の3種類を開発し、各委員会にて試用の上、必要に応じて追加する。
2. 全ての作業をサーバ上で行う
 - (1) 例えば教材作成に必要な画像など、必要な素材データ、文書ファイルはあらかじめ私情協のサーバに送信しておき、作業は全て私情協のサーバに接続して行う。作業はブラウザ画面で実施し、作業するパソコンには特定のソフトウェアのインストールを不要とする。そのため、ネットワークに接続できるパソコンがあれば、作成者は場所を選ばずに作業を進めることができるようにする。
 - (2) サーバには委員会単位、委員単位の作業フォルダを用意する、作成途中のコンテンツはサーバに保存でき、何時でも呼び出せるようにする。そのため、作成者は場所を選ばず、時を選ばずに作業を再開することができるようにする。
 - (3) Webページが完成するまでは委員会メンバー以外には非公開とし、完成後に公開する。一度公開したページを修正・更新する場合には、

作成者の操作で非公開とすることができるようにする。

3. グループ作業を可能とする

- (1) 委員会メンバー専用の共用フォルダを用意し、共有フォルダ上で作成するコンテンツは委員会メンバー全員が参照・更新できるようにする。そのため、作成途中のコンテンツを他のメンバーがレビューしたり、1つのコンテンツを複数のメンバーが共同で作成することができるようにする。



※ 研究室のパソコンにある素材データをあらかじめ私情協サーバの専用フォルダに投入しておき、以後の作業は自宅でも、出張先でも、ブラウザのあるパソコンがあれば自身の都合に合わせて作業できる。また、共有フォルダで他の委員と共に作業することもできる。

『テンプレートの機能』

1. アンケート作成機能

- ① アンケート画面(設問、回答入力画面)、回答検索画面、結果表示画面から構成する。
- ② 設問単位に記述欄、選択肢など回答形式を選ぶことができる。その際、選択肢の単一選択、複数選択などを選べるようにする。
- ③ 作成者がアンケートの動作確認、修正・変更できるようにする。
- ④ CGI形式の回答入力画面からデータベースに自動的に反映されるようにする。
- ⑤ 回答者による回答項目の不足、回答の二重送信を自動で検出し、回答者側に再入力を促すメッセージを表示できるようにする。また、回答者には直ちに謝辞と回答内容が記載されたメールを返信し、回答内容を確認できるようにする。
- ⑥ アンケート画面に対応した検索画面を自動で生成し、データベースか

らの以下の集計結果を出力できるようにする。

- a. 検索画面で全文検索を行い、個票を表示することが可能。
 - b. 回答結果を自動集計しグラフ出力できる。
 - c. 回答結果は表計算ソフトで独自に集計できる。
- ⑦ 大学単位の回答が必要な場合には、作成したHTMLあるいはXMLフォーマットを大学側でダウンロードできるようにする。その際、ダウンロード先のディレクトリに回答データがCSV形式などで集積できるようにする。

2. リンク集作成機能

- ① タイトル、URL、解説の記述欄に必要な事項を入力する。作成する所在情報の個数は任意に増やすことができる。
- ② リンク依頼のメールを定形文にて生成し、加筆・修正の上発信する。あらかじめCSV形式などで名簿を準備し、メーリングリストとして発信できるよう工夫する。
- ③ 定期的にリンク集のURLを自動でチェックし、消滅しているURLがある場合には作成者及び事務局に確認のメールを発信する。

3. Web教材作成機能

- ① 文書、静止画、動画、音声、ダウンロードファイルを貼り付けることができる。
- ② 文書は記述欄に直接記入する。データは貼り付け場所、ファイル形式などを指定の上、転送する。
- ③ 貼り付け可能なファイルは静止画(GIF, JPEG等)、動画(MPEG, Quicktime等)、音声(MIDI等)、PDFの他、MS-Powerpoint, Excel, WordやLotus 1-2-3, 一太郎などで作成したファイルも取り扱いが可能とする。この場合、参照者側のパソコンに対応するアプリケーションがインストールされていることが条件となる。
- ④ 教材作成に必要な全ての素材はあらかじめサーバに転送することができ、Windowsパソコンのファイルコピーを同等の操作性で実現する。
- ⑤ 複数の教員による共同作成を可能にする。その際、誤って消去したり、上書き保存できないよう更新履歴付きの確認メッセージを表示する他、2世代以上のバックアップファイルを作成できるようにする。
- ⑥ 完成した教材を学内で使用できるよう、作成者及び委員会メンバーがダウンロードできるようにする。

賛助会員と打ち合わせたところ、Web教材作成機能における平易なファイル転送の機能や、Webページを自由にレイアウトする機能の実現は困難である旨の指摘があり、代替の機能を検討中である。次年度には、上記の代替機能を盛り込んだシステムを賛助会員の協力により構築し、学系別の情報教育研究委員会による試用・評価を行った上で運用することとしている。

(2) 私情協イベントのライブ配信に関する検討

当協会の各種研修事業にネットワークで参加することも可能となるよう、基調講演、事例紹介、討議の模様などをインターネットによりライブ配信するための技術的な可能性について検討した結果、会場と賛助会員のデータセンターをISDNで接続し、動画像・音声をリアルタイムに配信する。資料は、私情協Webサイトに掲載し、閲覧する方法で14年度に実験することにした。

